

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 3 月 1 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503080		
法人名	社会福祉法人 常新会		
事業所名	GH 喜望 よろこび ・ のぞみ		
所在地	福山市御幸町下岩成646-1 (電話) 084-970-0231		
自己評価作成日	令和7年2月2日	評価結果市町受理日	令和7年4月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503080-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和7年2月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

毎身体操や誤嚥防止の口腔体操を行いADLの維持に努めているが、入居者の年齢層も高くなり動く事が可能な方が少なくなっている。季節を感じられる壁紙作りや、座った状態で出来る体操やゲーム、折り紙切りなど入居者の方に参加して頂きアクティビティを考え取り組んでいる。また、入居者個人に適した家事活動、食事にも楽しさがでるようソーメン流しをしたり、鉄板でタコ焼きやお好み焼きパーティーをしたり、誕生日会、イベントや行事ごとを喜んで頂けるよう努めている。
買い物やドライブ、家族会を行い、日々の暮らしを充実してもらえるよう入居者との対話を通してやりたいことや望みを聞いてそれに沿えるように動き、グループホームでの暮らしが華やかになるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「たそがれ銀座体操」など事業所独自の体操を数種用意し、動画サイトの活用など様々な方法で機能訓練に取り組んでいる。食事は3食手作りで対応し食事準備から片付けまで役割を持って取り組んでいる。また、行事食ではソーメン流しやバーベキューなど食事を楽しむ取り組みを行っている。家族と外食に出掛ける利用者もおり、家族水入らずの時間を過ごしている。家族会を再開し年3回実施しており、行事を通じて同じ時間を過ごし日々の様子を見てもらうことで安心感を感じてもらえるよう支援している。日々のレクリエーションの中で「お話し会」を実施しており、利用者全員で同じテーマで話をする時間を設け、新たな発見はもとより回想法による情報収集の場にもなりケアの充実につながっている。

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所全体で地域との交流の大切さを共有している。 入居者や家族の思いは、面会や家族会等で傾聴し実践につなげている。	玄関ホールに法人理念を掲示している。 ユニットごとに毎年チーム目標を設け、ユニットミーティングと主任会議で振り返りを行うことでより良いケアにつなげている。また、チーム目標をもとに個人目標を策定することで事業所理念の実現につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に職員も参加して交流をするなどをしている。 (町内掃除、子供神輿や花笠など) まだ事業所の祭りは行えていない。	町内会長が運営推進会議に出席があり地域の行事や情報の提供が常にある関係を築いている。地域行事の子供神輿や花笠は事業所駐車場で披露し世代間交流につながっている。公民館での体操や認知症、介護保険について情報提供を行い地域の介護力向上にもつながっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域との交流や事業所のサービスなどを通じて認知症の理解や支援について伝えている。 少しずつ職場体験や実習の受け入れを行っている。 また地域の方々に向けての関わりが少しずつ再開している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を通じて事業所の取組みを報告話し合いをし、地域の人、職員、ご家族との交流をしている。	運営推進会議の開始前に事業所独自の「たそがれ銀座体操」を行い、日頃の機能訓練内容、生活動作向上の取組みを周知している。会議には毎回違う家族に参加してもらい、日々のケアの状況について説明している。参加できない家族にも議事録を送付し会議内容を周知している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の担当課と連絡を取り、取組みを報告などして、ケアサービスの向上にも努めている。 事業所で困難事例があった時など情報を得ている。	市の介護保険課との連携は所長が一括窓口となり連携を行っている。市主催のオンライン研修には管理者だけでなく一般職員も参加している。認知症カフェへの参加実績もあり、運営に携わっている。生活保護受給の利用者もおおり、担当課との連携を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会や職員への聞き取りを通じて、身体拘束をしないケアに、皆で取り組んでいる。(毎年6月と12月に勉強会)</p> <p>身体拘束委員で3ヶ月毎に委員会を開き、各部署のミーティング、主任会議で報告を行っている。</p>	<p>年2回、身体拘束をしないケアの実践の勉強会を行っている。勉強会の中で、スピーチロックについてアンケートを実施し、グラフ化し共有することで意識の見える化につなげ、ミーティングで振り返りを行っている。日頃から声を掛け合い、日頃のケアを振り返れるよう意識を高めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や在宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会や職員同士のコミュニケーションを通じて、虐待が起こる事のないように努めている。</p> <p>リモート、社外研修を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強の機会を作り、日常生活自立支援事業や成年後見制度についての話し合いをしている。</p> <p>現在、入居者1人が成年後見人制度を利用しており、後見人の方と連絡を取っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約、改定などの時は、利用者、御家族にしっかりと説明を行い、不安や疑問を聞き、納得や理解を得られるように務めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱や面会の際、または電話で意見、要望を聞き、管理者と職員間で共有し対策を行い運営に反映させている。</p> <p>直接ご意見を下さる家族に対して、その都度話し合い、対応している。</p>	<p>家族会を年3回行うことで都度、意見の言える場を構築している。利用者ごとに担当職員を設けており、職員が責任を持って家族と情報を共有し思いを表出できるように取り組んでいる。実際に毎月、送付する広報紙をキーパーソンだけでなく、ご兄弟にも送付するよう対応を変更した事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各部署のミーティングで出た意見は、メールにて議事録は全スタッフが見れるようにしており、意見、提案は主任会議の中で検討している。</p>	<p>毎月ユニットごとのミーティング、主任会議を行い、職員の意見を反映・取り組みに活かしている。実際に外出が難しい時に職員発案で事業所内でバーベキューを行った事例がある。2名の技能実習生を受け入れており、全職員が指導マニュアルを常備しサポートを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年職員の面談を行い、業務に対する考え方、目標等を把握し働きやすい職場環境作りや条件の設備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内での研修、能力開発プログラムを通して、実技兼、知識をつけてもらえるよう実施している。 法人外の講習会等への参加も情報を提供し促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修に参加し同業者と交流を図ったり、他施設の勉強会や法人内他部署の勉強会を通じて意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取り組みを行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前に訪問し不安や要望等を聞き解決できるよう行っている。 また、ライフメイト（職員のことで、仲間・家族の一員ということ）という言葉通り、一緒に生活動作を築きながら信頼し合えるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前より御家族と連絡を取り、困っている事、不安な事を伺いサービスの内容を丁寧に説明し、安心して頂けるよう関係作りに努めている。 また必要に応じて見学も行って雰囲気も肌で感じてもらうよう行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>サービスの導入時は、事前面談より得た思いや情報、多方面からも情報や意見を収集し、チームで検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の個性を尊重しながら日々の生活をする中で、頼り頼られながら信頼し合える家族のような関係を築けるよう、生活動作や家事動作、楽しみ事を一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族には、月に1度行事や普段の様子を載せた通信を送ったり、面会時に今の状況を伝えたり、ゆっくりと本人と関わる時間が持てるよう、居室の環境を整えている。 3カ月に1度、家族会を開催して、本人との交流の機会を大切にできるよう支援している。また、変化のあった時には連絡し相談しながら共に本人を支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>思い出の写真や馴染みのある歌や趣味の作品を通して会話をしたり、行事ごとを大切に、家族との交流を促して、様々な関係が途切れないよう行っている。</p>	<p>現在、面会の制限は設けておらず家族はもとより友人の来訪も見られている。日頃のレクリエーションの中で回想法を用い、得られた情報をもとに自宅周辺をドライブしたり、墓参りに出向いている。年賀状や手紙のやり取りを支援し、なじみの人との関係継続につなげている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者全員で同じアクトや体操を行ったり、会話をしながら家事など助け合われている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>家族の方から情報を頂き、職員全員で共有している。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>個々の担当を中心に本人の思いを聞きながら行動や会話を記録し、職員、家族、主治医と相談し検討している。</p>	<p>事業所独自のライフチャートを用い、利用者個々にアセスメントを行っている。定期的にテーマを決め、「お話し会」を開催し利用者全員で話をする中で思いを表出できる場を設けている。また、散歩や入浴時など、1対1になれる場での意向の確認にも努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人の話される事以外に、家族の方からも話を聞いて共有している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人の1日の様子を観察、記録して、主治医の意見も聞きながら職員で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月のミーティング時に、カンファレンスを行い、三カ月に1回介護計画の見直しを行い家族とも相談している。状態が変わったら、その都度ミーティングを行う。</p>	<p>各担当職員が毎月モニタリングを行い、都度計画の原案の作成を行っている。計画内には利用者個々の役割も盛り込んでおり、日頃の家事活動だけでなく裁縫のできる方に主治医から依頼がありベッドカバーを作成した事例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>1日の様子や対応、反応など、個別で記録し担当の評価を全員で話し合い、介護計画を見直している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>体調など気になる事を主治医に相談し、他の病院などの受診も行っている。同法人のリハビリ部門よりリハビリの相談助言もしてもらっている。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナが5類になり、地域町内会の行事に少しずつ参加している。事業所の祭りは行っていない。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族と主治医に連絡を取り説明報告を行っている。主治医に指示をもらい、必要な時は主治医から家族に直接話をしてもらっている。</p>	<p>利用開始時に主治医の変更をお願いしている。月2回の訪問診療だけでなく毎朝主治医の訪問があり体調の変化を相談し適切な医療的ケアを行っている。緊急時にも24時間連絡が取れ、医師の指示のもと対応できる体制を構築している。他科への受診時には主治医からの紹介状をもとに受診している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医や看護師、家族に、その都度相談、報告して、入居者の適切な対応、指示により行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、情報提供書を発行、入院中の状態などは電話にて確認に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>何度も家族に説明、希望を伺い納得のいくような最後を迎えられるよう、医師や職員から、しっかりと説明をしている。</p>	<p>契約時に重度化対応における指針を説明し看取り同意書を得ている。その後、状態の変化に伴い主治医より説明を行い、方針を決定している。看取り期のケアについて法人内専門職とも協議し支援内容を決定している。看取り後はデスカンファレンスを行い振り返りを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員で日中、夜間それぞれのマニュアルを共有している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年に2回、消防訓練、災害訓練を行っている。勉強会も行い、水や飲料、缶詰などのストックを置いている。</p>	<p>年2回消防訓練を行うとともにBCP(業務継続計画)を元に勉強会を行っている。勉強会では災害シュミレーションを行うことで適切に対応できるよう取り組んでいる。訓練時には利用者も一緒に避難訓練を行っている。運営推進会議を活用し地域住民に協力を仰いでいる。備蓄は3日分の食料や生活必需品を備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	見守り、声掛けを行い、気持ちやプライバシーを損ねないように支援している。	接遇をチーム目標に設け、取り組みを行っている。「共通用語」をテーマに取り組みを行い、プライバシーの確保に努めている。排泄内容を職員間で共有する際には隠語を用い配慮している。また訪室時には必ずノックを行うことで了解を得て、室内に入るように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	声掛け、お話しなどの中から、本人の希望を聞き、状況に合わせて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ペースに合わせ、希望に添った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の持っておられる物を大切に身につけられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る作業をしてもらい、食事に興味を持ってもらえるよう支援している。	3食手作りを行っており、ユニットごとにメニューを決め提供している。毎食、冷蔵庫を確認しメニューを決定している。配膳や皮むきなどの役割を持ってもらっている。行事食では、そうめん流しや事業所内でバーベキューを行った実績もあり食事を楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の内容や形態など工夫し、個々に合わせて提供している。 毎食のメニューや、それぞれの摂取量を記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の歯磨きの声掛けを行い、介助を行っている。 自力で難しい場合は、必要に応じて歯科往診を依頼し、定期的な口腔ケアもお願している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレの声掛け、誘導をして、トイレでの排泄、パット使用の軽減に努めている。</p>	<p>「いつまでもトイレで排泄ができる」を念頭にケアを行っている。排泄表を用い個々のリズムに合わせた誘導を行うことでパットの使用量の削減につながっている。夜間も必要な方には声掛けし、介助している。トイレ内を暗めな落ち着いた雰囲気です排泄できるようにしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の好みやタイミングに合わせて提供し、必要時声掛け、介助を行っている。 午前、午後と体操の時間を取っている。 主治医に相談し必要な時は下剤の服用も検討している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>無理強いをせず、本人の気分や体調に合わせて、時間をずらして、再度声掛けをしている。 入浴の難しい方には、清拭、洗髪で対応している。</p>	<p>週2回希望に応じた時間に入浴ができるよう入浴時間を設けず対応している。 ヒートショック予防のため脱衣場と浴室の温度差を最小にできるよう設備を設けている。入浴剤を数種類用意し様々な香りで入浴できるように対応している。季節に応じてみかんやゆずを浮かべている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼食後1時間程度、自室に戻って休んでもらっている。 体調により、午前中も休んでもらう事もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	調剤ファイルで、薬の内容、用法など確認し、職員間で共有している。 体調の変化に注意し状況により、主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	気が合い話しや活動が一緒に出来る方同士を隣の席に組み、楽しく過ごせるよう配慮している。 職員が側に入り一緒に話しや行動を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出が可能な入居者は、季節毎に、桜、バラ、ひまわりなどを見に行っている。	散歩コースには公園があり地域の方との交流の場となっている。ユニットごとの行き来も自由にでき、希望の場所で過ごすことができるようになっている。季節の桜や薔薇、もみじ狩りなどの外出支援も行っている。家族の協力のもと外食や外泊に出かけている方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金はグループホームで預かり金庫で保管している。 本人が希望する物がある時は、職員が購入し渡している。		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望がある時は、まずは職員が電話をかけ、本人にかわり話しをしてもらっている。 直接話せない場合は、面会にきてもらい話しをしてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>エアコンを使用し、快適な室温で過ごしてもらえるように気をつけている。 大きな音にも注意をしている。 季節の壁飾りなど一緒に作成し、皆が見える場所に飾っている。</p>	<p>季節に合わせた壁画を利用者協力のもと作成し飾っている。絵馬に個々の目標を記し7段の雛人形は家族協力のもと飾り付けを行っている。共有空間で過ごす際は座り替えをし、椅子の高さの調整を行っている。エアロバイクを設置し、機能訓練にも取り組めるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ゆっくり新聞を読んだり、気の合った入居者同士で話をしたり、テレビやYouTubeで好きな番組など観られるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人のなじみのある物を持って来ても良かったり、家族の写真や誕生日会の色紙などを飾っている。</p>	<p>居室にエアコン、カーテン、クローゼットが備え付けで設置してある。希望の方にはミシンや裁縫道具の持ち込みも可能である。状態に合わせた居室のレイアウトを配慮し事故の予防に努めている。居室の入り口には名前と花の絵を設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の能力を活かせる家事や行動、運動など行えるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(よろこび) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を基に、チーム目標を作成している。入居者や家族の思いは、面会時や家族会等で聞き、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	職員が年2回、春と秋に町内の清掃活動に参加している。 10月には、町内の子供神輿が来て、地域の方々と一緒に過ごす事ができた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の秋祭りの行事で、喜望に子供神輿が来て、役員の方や子供達と一緒に過ごすことが出来ました。 地域の方々への関わりが少しずつ行えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	グループホームでの行事内容等を報告している。町内会長や地域包括の方やご家族から、ご意見をいただき、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所で事故があった時の報告、困難事例があった時の相談、コロナの状況等の情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎年6月と12月に、勉強会を行ったり、チームミーティングにて話し合いを行い、共有している。 年に4回、3か月毎に身体拘束防止委員会を開催し、年に1回主任会議で活動報告をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所内の勉強会で、動画を見ながら学び、職員間で共通認識を持つように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援や成年後見制度について、勉強会を行い、学んでいる。 現在、入居者1名が成年後見制度を利用しており、後見煮んの方と連絡を取り合っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、書類によって説明を行い、改定があった時も、その都度説明を行い、納得して頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関にご意見箱を設置し、管理者や職員間で共有し、対策を講じている。 直接、ご意見をくださるご家族もあり、その都度、反し合って対応している。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>チームミーティングで出た提案や意見は実践したり、毎月の主任会議にて、報告したり、検討もしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年、職員の面談を行い、業務に関する考えや個人目標を把握し、働きやすい職場環境作りの整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>事業所内での研修会や新人能力開発プログラムを通して、技能や知識をつけてもらうよう実施している。 事業所外の講習会への参加の情報提供も行い、参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域ケア会議に参加し、同業者と交流を図ったり、情報交換を行い、サービスの向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者やその家族と会話を通して、ご意見や要望や不安な事等を聞き、その都度対応している。 一緒に生活する上で、信頼関係を築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族より、要望や不安な事等を伺い、それに沿ったサービス内容をしっかりと説明し、安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス開始前には、事前に行う面接で得た要望や情報をチームで話し合い、多方面からも情報や意見を収集し、検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の個性や思いを尊重しながら、日々生活する中で、お互いが支え合う関係を構築出来るように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に一回、グループホームでの暮らしや行事等の写真を載せた通信を送ったり、面会時には本人と交流できる機会を大切にしている。 また、変化があった時は、すぐに連絡し、情報提供や相談等するよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や外出を通して、グループホームで暮らしつつも、これまで通りの関係が途切れないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>お話しや家事活動やアクトなどを行う事で、入居者同士が関われる場を設けている。その中で、入居者間で助け合いを行っている場面もある。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービスの利用が終了した家族の方からの悩みや相談などがあつた際には、話を聞き解決に向けた手助けを行っている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者の要望や思いなどを聞き、職員間で共有、必要があれば家族とも相談をして、利用者の意向に沿うように心掛けている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>サービスの利用前に家族、本人や家族から生活歴やこれまでの日々の暮らしなどを聞き、グループホームでも充実した生活を送れるように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の様子を毎日記録に取り、職員間で共有をし、時には主治医から意見を頂くことで現状を把握できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月に一度、チームミーティングを開催し、問題点や改善点を検討している。またそれ以外でも話し合いが必要であれば、柔軟に対応しており、家族や入居者の意見を反映している。介護計画は三か月ごとに見直している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の日々の様子や気づき、対応などを24時間記録を取り、それを申し送りやチームミーティングなどで共有し、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要であれば同法人のリハビリ部門の職員に意見や助言を頂いている。また、主治医には医療面での相談をしたり、多方面からアドバイスを求め、より良い支援を行えるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>毎年、秋には地域の子供神輿が来て、地域の方々や子供達と一緒に過ごされ、楽しんで頂いていた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診時は家族に連絡を取り、了承を得ている。また、急変時は家族、主治医に連絡をしている。必要時は、主治医から家族にお話しいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の様子や情報、気づき等を主治医や看護師に報告をして、必要であれば指示を頂き、適切な対応が出来るように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する際には、普段の様子や食事形態、行っているケアなどの情報を提供している。また、入院中も連絡を取り情報交換をし、退院時には情報を提供してもらっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	サービス開始前に家族の要望を伺っている。また、サービスを利用開始後も入居者の状態などに変化が合った場合には、その都度、今後の対応について家族に確認を行い、納得をして頂いている。主治医と連携をと図りながら、支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故についてのマニュアルを日中と夜間の両方作成しており、職員全員が把握している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	日中、夜間それぞれを想定した消防、災害訓練を毎年2回行っている。また、5月、11月の勉強会とBCP訓練を行う事で、職員の意識を高め、防災意識や災害対策の理解を深められるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の思いを傾聴し、プライバシーを尊重して、個々に合った声かけや対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意思を尊重し、状況により、自己決定を行うのが難しい方に対しても、工夫をしながら出来るだけ自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望を優先した生活を送って頂けるように、個々に合ったペースで過ごして頂けるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好きな服を着てもらっている。一人で決定するのが難しい方には、職員と一緒に選ぶなどの対応をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の会話の中で好みの食事を把握したり、食材を見て何を作るか話し合ったりしている。また、野菜の皮むきやカットなどの調理や洗い物や皿拭き等の片付けをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>毎日の食事メニュー、食事摂取量、水分 量を記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きの声掛けや歯磨き後の確 認を行い、介助の必要な方は職員が口腔 ケアを行っている。 必要であれば歯科往診の依頼を行ってい る。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合った下着（布パンツ、紙パン ツ、パット等）を使用している。排泄リ ズムを把握し、トイレ誘導を行い、排泄 の失敗、パット使用量の減少に努めてい る。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分をこまめに摂取して頂き、青汁や牛 乳などや芋類、野菜、海藻類等の食物 繊維を取り入れ、便秘予防に努めている。 また、毎日の体操や散歩を行い、体を動 かす習慣をつけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>浴室や脱衣場は他の部屋との寒暖差を少 なくし、気持ち良く入浴して頂けるよう 心掛けている。 気分が乗らない際は、時間を変える等、 無理せず様子を見ながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の体調、生活習慣に合わせ午睡の時間が取れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬剤情報提供書を利用し、薬の飲み方、効能効果、副作用などの注意事項を理解し、職員間で情報共有している。体調に変化があれば主治医に報告し指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>本人の持てる能力を生かし、家事活動、歌会、作品作り等のアクト、youtubeを利用した体操、脳トレを行っている。また、季節に合った行事、外出等を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個々の希望や体力に合わせ散歩、ドライブ、外食行事を行い、四季折々（紅葉、花見等）の外出行事も行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>現金は預かり金庫で管理している。買い物の際は職員が付き添い購入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば家族に電話連絡をして、話をされている。家族の誕生日が近い際はメッセージカードにお祝いメッセージを記入して頂き、来所持に家族に手渡し出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>施設内の移動に迷ったり思い出せない等の混乱を防ぐ為、視覚的に理解しやすい配置や標識を設置している。廊下やホールからは屋外の景色が見え季節の変化が分かるようにしている。季節や行事に合った作品作りを行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者同士が助け合い交流が出来る様にテーブルを配置し、廊下、窓際にはソファを置き各自、自由に使用して頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れたものや家族写真等の思い出深いものを飾り、安心して過ごして頂けるように心掛けている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>歌会や日記などの趣味活動を提供し、家事活動、アクト、体操などを取り入れ、安全かつ、生きがいを感じて頂けるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(のぞみ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム喜望

作成日 令和7年3月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で報告した内容や意見交換を家族の方と共有した方が良いのではないかと。	家族の方にも運営推進会議の内容を知って頂く。	各ユニットのGH玄関に議事録のファイルを閲覧できるように置く。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。